

# 2001

平成13年

- 2001 (平成13年) 8月 ミューバス原循環運行開始
- 12月 委員会室用傍聴システムを導入

- 2002 (平成14年) 5月 子育てサポートキャラバン開始
- 6月 沼津市議会議員定数条例を制定 48  
(議員定数の法定定数廃止に伴い議員定数を条例で36人から34人に)
- 6月 議事録検索・閲覧システムを導入 49
- 7月 沼津駅北口駅前広場完成 50

- 2003 (平成15年) 2月 社会福祉会館移転オープン
- 4月 市立沼津高校中等部開校
- 4月 3市2町で消防緊急情報指令システムを共同運用開始
- 5月 議員改選 34人
- 7月 西浦海浜施設「らららサンビーチ」オープン



- 9月 沼津市・戸田村合併に関する調査特別委員会を設置 51

## 世の中の出来事

- 2001(平成13)年 アメリカで同時多発テロ発生
- 2002(平成14)年 2002 FIFA日韓ワールドカップ開催
- 2003(平成15)年 イラク戦争勃発

## 2003 平成15年

# HPで議事録検索



沼津市議会は、過去の市議会でのやりとりをインターネットのホームページ上で検索することができる議事録検索・閲覧システムを導入した。知りたい市政の問題や話題がある場合、膨大な議事録をめぐらなくてもキーワードを入力することで関連する部分を短時間で閲覧できるのが特徴だ。

## 発言内容も手軽に

### 沼津市会 閲覧システムを導入

現在検索が可能なのは、平成14年10月の定例会から13年9月の定例会まで。定例会開会のほか、特別に大きな問題を扱った市議会も同システムの準備を進めていた。検索方法は、探したい言葉から関連部分を選び出すクイック検索と、キーワード、発言者名、質問がかかるため、十七日体的な定例会臨時会、期間のいずれかを指定する。沼津市議会の「議事録検索・閲覧システム」のページ

平成14(2002)年6月18日 静岡新聞

### 49 ホームページに議事録検索・閲覧システムを導入

本会議等の議事録をインターネット上で検索・閲覧できるシステムを導入。検索・閲覧は市議会ホームページからキーワードや発言者名などからできるようになった。

### 48 沼津市議会議員定数条例の制定

地方自治法の一部改正により、議員定数の法定定数が廃止され、条例定数制度が導入された。本市では平成14年6月定例会で議員定数を現行の36人から2減らして、34人にする案を賛成多数で可決し、36人を維持する条例案は否決した。また、これに伴い同定例会に提出された「沼津市議会議員の定数削減に反対し現状維持を求める請願」は、みなし不採択となった。

2001

## 議員定数2減の34

### 沼津市議会が条例案可決

沼津市議会は十七日、の統一地方選から適用される現行三十六の議員定数を二減らして三十四とする定数条例案を賛成多数で可決した。共産党が提出した現行の定数三十六を維持する条例案は否決された。新条例は来年一月施行で、改選となる四月

平成14(2002)年6月18日 静岡新聞

2003

## 合併特別委を一転設置

### 「戸田への誠意」示す

沼津市会

平成15(2003)年9月20日 静岡新聞

## 市町村合併

市町村合併に関する特別委員会については、沼津市議会が九月定例会最終日の十九日、本会議の冒頭で議員発議による「沼津市・戸田村合併に関する調査特別委員会」の設置議案を工程し、全会一致で可決した。委員長には水口清久副議長が就任した。市当局からの設置要請に応えた。最終本会議はこのほか、一般会計補正予算案など十八案件をすべて原案通り可決した。

部恭一沼津商議所会頭から設置申し入れもあったが、十七日の全員協議会で鈴木秀郷議長が「議員全員で話すことが大切なので時期をみて判断する」と発言するなど、設置に慎重だった。しかし「議会として戸田村に誠意をもって対応するため(鈴木議長、

相手は戸田村に絞った委員会とした。鈴木議長は「清水町と沼津市は合併協議会に協議員を出しているうえ、中核市を目指そうとした時に声を掛けられた伊豆長岡、長泉の議会と交流している。これまでの経緯を踏まえ、けじめがつかずまでは「勉強会レベルで検討して

### 51 沼津市・戸田村合併に関する調査特別委員会を設置

沼津市と戸田村の合併にかかる諸問題の調査・研究・検討を行うため、地方自治法第110条第1項に基づく特別委員会を設置した。

### 50 沼津駅北口駅前広場供用開始

沼津駅北口駅前広場の整備にあたっては、障がいを持った方、車椅子使用者、高齢者などの意見を反映させながら整備計画が改善された。歩道の段差をなくしたり、雨に濡れないようシェルターを設けるとともに、音声誘導システムが採用されるなど、すべての人に配慮したユニバーサルデザインの視点が導入されている。